

2023年11月30日

各位

三井住友信託銀行株式会社

トランジション・ローンの契約締結について
(株式会社IHI)

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、株式会社IHI(代表取締役社長:井手 博、以下「IHI」)との間で、IHIが策定し、2023年9月26日に公表した「サステナブルファイナンス・フレームワーク」(以下、「同フレームワーク」)(※1)に基づく「トランジション・ローン」の融資契約(以下「本件」)を締結いたしました。

本件は、ローン・マーケット・アソシエーション等(以下、「LMA等」)(※2)が定めた「グリーンローン原則」、環境省が定めた「グリーンローンガイドライン」、国際資本市場協会(以下、「ICMA」)(※3)が定めた「クライメート・トランジション・ファイナンスハンドブック」および金融庁・経済産業省・環境省が定めた「クライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針」(以下、これらを総称して「当原則・ガイドライン等」)に即した融資契約であり、また、同フレームワークは、当原則・ガイドライン等への適合性について株式会社日本格付研究所による第三者評価(※4)、を取得しています。

トランジション・ローンは、気候変動リスクへの対策を検討している企業が、脱炭素・低炭素社会への移行に向けて、長期的な戦略に則ったCO₂削減の取組を行っている場合に、その取組を支援することを目的とした融資です。企業が気候変動関連のリスクに効果的に対処するために掲げている科学的根拠に基づくクライメート・トランジション戦略とガバナンスおよびビジネスモデルにおける環境面のマテリアリティを評価し、パリ協定の目標達成への活動を促進するものです。

当社では、トランジション・ローンなどのサステナビリティに関するソリューションの提供により、SDGs達成に資するお客さまのさまざまな事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指していきます。

<IHIについて>

IHIグループは、「技術をもって社会の発展に貢献する」、「人材こそが最大かつ唯一の財産である」という企業理念ならびに「IHIグループのESG経営」の方針のもと、気候変動の緩和と適応を重要な経営課題のひとつとして位置づけ、ESG経営を一層推進しています。取り組むべき社会課題を踏まえ、2023年5月には「グループ経営方針」を策定しており、成長領域への大胆な経営資源のシフトを通じて、持続的な高成長企業への更なる躍進を目指しています。

そのような中で、IHIは、「グループ経営方針2023」に基づく事業戦略とファイナンスを一体とらえ変革の取り組みをステークホルダーの方々とともに進めていくべく、同フレームワークを策定し、2023年9月26日に公表しました。同フレームワークを用いて調達した資金で、社会課題の解決に取り組み、社会価値を創出するとともに、企業価値の向上および事業の持続的な成長を目指しています。

< 本件概要 >

企業名	株式会社IHI
契約締結日	2023年11月30日
資金使途	同フレームワークで定める適格クライテリアのうち、①成長事業(航空エンジン・ロケット分野/航空機の軽量化、航空機エンジンの電動化、SAF(※5))、②育成事業(クリーンエネルギー分野/アンモニアバリューチェーンの構築、カーボンリサイクルの実現)に関連する適格プロジェクトへの投資等

(※1) サステナブルファイナンス・フレームワークの詳細はこちら

<https://www.ihico.jp/sustainable/finance/i/framework.pdf>

(※2) ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)

欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60ヶ国以上に属する700以上の機関が加盟しています。

(※3) 国際資本市場協会(ICMA)

スイスに本部を置く(1969年設立以来チューリヒ)国際団体であり、世界60カ国の発行体、発行市場・流通市場取引仲介業者、アセット・マネージャー、投資家、資本市場インフラ運営者等500以上の会員から構成されています。

(※4) 株式会社日本格付研究所による評価の詳細はこちら

<https://www.jcr.co.jp/download/2cfa7f6cca92fa02a7dd1dfca1fd7b06a626cebc119c50a74a/23d0802.pdf>

(※5) SAF:持続可能な航空燃料(Sustainable Aviation Fuel)

持続可能性のクライテリアを満たす、再生可能又は廃棄物を原料とするジェット燃料

以 上